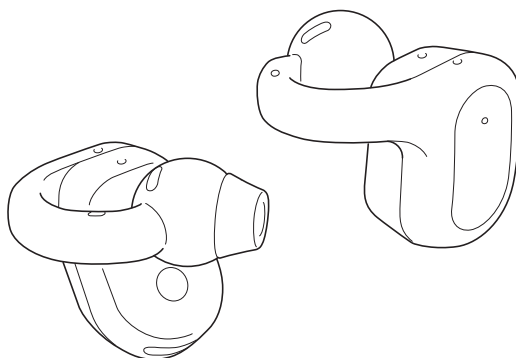


# earU

ER-100

## 取扱説明書



・ 使用前に「[安全上のご注意](#)」をよくお読みの上、正しくお使いください。

# 目次

---

安全上のご注意 .....	3
はじめに .....	12
あらかじめご了承ください .....	12
同梱品の確認 .....	13
各部の名称 .....	14
充電する .....	15
充電に関する注意 .....	18
ご使用前の準備 .....	19
専用アプリをダウンロードする .....	19
スマートフォンと接続する（ペアリング） .....	26
イヤホンを耳に装着する .....	29
イヤピースのサイズ確認・交換 .....	31
聞こえのテストを行う .....	34
聞こえのテストの結果管理 .....	39
基本的な使い方 .....	41
イヤホンの使い方 .....	41
イヤホンの操作 .....	43
充電ケースの操作 .....	44
イヤホンの状態について .....	45
専用アプリでできること .....	47
専用アプリについて .....	47
モード切り替え .....	48




---

シーン切り替え .....	51
シーンの詳細設定 .....	55
環境音を再生する .....	58
ストリーミングイコライザー設定 .....	62
マルチポイント接続設定 .....	66
工場出荷時の設定にリセットする .....	69
<b>付録 .....</b>	<b>72</b>
製品仕様 .....	72
スタイルアクセサリ .....	74
使用上のご注意 (earU) .....	75
お手入れの方法 .....	78
廃棄について .....	82
Bluetooth <sup>®</sup> 機能の使用上のご注意 .....	83
商標について .....	84
アフターサービス窓口について .....	85

## 安全上のご注意

### 絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 <b>危険</b>	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
 <b>警告</b>	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 <b>注意</b>	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

### 絵表示の例



分解禁止

○記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。









▲記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。






 **危険**

## 内蔵充電式電池について

	<p><b>指定以外の方法で充電しない。</b> 指定以外の方法で充電すると、電池を発熱・発火・破裂させる恐れがあります。</p>
	<p><b>発熱・発火・破裂を防ぐため、次のことは必ず守る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 火中に投入しない、加熱しない。</li><li>• 電子レンジ・乾燥機・高圧容器などに入れない。</li></ul>
	<p><b>漏液・異臭・発熱・変色・変形・その他異常を見つけたときは、取り扱いに注意して火気から遠ざける。</b> <b>その機器は使用しない。</b> そのまま使用すると、電池が発熱・発火・破裂する恐れがあります。</p>
	<p><b>直射日光の当たる所、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温になる場所で使わない、放置しない。</b> 発熱・発火・破裂の恐れがあります。</p>
	<p><b>機器内部の電池の液が皮膚や衣服についたら、すぐにきれいな水で洗い流す。</b> 皮膚がかぶれる恐れがあります。 目に入った場合は、失明などの恐れがあります。 洗浄後、すぐに医師の診察を受けてください。</p>
	<p><b>本機から電池を取り出さない。</b> 発熱、破裂、発火の恐れがあります。 やむを得ず電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。 電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。</p>

 **警告**

## 置き場所・使用場所について

	<p><b>ペットの近くに本機を置かない。</b> ペットが噛んだり、尿がかかると、ショート（短絡）による火災の原因となります。</p>
	<p><b>次のような場所に置かない、使わない。</b> 火災・感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 湿気やほこりの多い場所</li><li>• 台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所</li><li>• 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所</li><li>• 振動の多い場所</li><li>• その他、高温や低温の所（本機は 0°C～40°C の環境内でご使用ください）</li></ul>
	<p><b>ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かない。</b> <b>USB ケーブルの挟み込みなどにも注意する。</b> 落下・転倒時には、けがの原因となります。</p>
	<p><b>本機の上に重い物を乗せない、本機の上に乗らない。</b> 落下・転倒によるけがや、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置をしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 電源を切る</li><li>2. USB ケーブルを外す</li><li>3. 「修理に関するお問い合わせ先」に連絡する</li></ol>
	<p><b>水場や風呂場などの水にぬれる所に置かない。</b> 火災・感電の原因となります。</p>

## 異常（煙・臭い・発熱など）について



発煙・異臭・発熱などの異常状態で使わない。落としたときなど破損したまま使わない。

火災・感電の原因となります。すぐに次の処置をしてください。

1. 電源を切る
2. USB ケーブルを外す
3. 「修理に関するお問い合わせ先」に連絡する

## 分解・改造しない



本機を分解・改造しない。内部の点検・調整・修理は「修理に関するお問い合わせ先」に連絡する。

感電・やけど・けがの原因となります。

## 水・異物は避ける



水、液体（スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿など）、異物（金属片など）が本機の内部に入らないようにする。もし、入ったら、すぐに次の処置をする。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

1. 電源を切る
2. 「修理に関するお問い合わせ先」に連絡する



本機や USB ケーブルの上やそばに花瓶など液体の入ったものを置かない。

倒れて、液体がかかると火災・感電の原因となります。







## 小部品について




小部品があります。誤飲・窒息の危険があります。小部品は子供の手の届かないところに保管する。

飲み込んだ場合、直ちに医師と相談してください。


## イヤホンについて

- |   |  |
|---|--|
|    | <b>本機を飲み込まない。</b><br>乳幼児、または誤って口に入れてしまいそうな方の手の届くところに本機を保管しないでください。本機には磁石が内蔵されています。本機を飲み込んだ場合、磁石同士が腸壁を挟んで癒着し、傷病の原因となるおそれがあります。また、窒息などの健康被害のおそれもあります。万一、本機を飲み込んだ場合は、速やかに医師の診察を受けてください。 |
|    | <b>イヤピースを誤飲しない、させない。特に乳幼児の手の届くところに置かない。</b><br>イヤピースを飲み込んだ場合、直ちに医師と相談してください。   |
|    | <b>MRI 検査を行う場合は、本機を検査室に持ち込まない。</b><br>本機の金属部が熱くなって火傷をするおそれがあります。また、磁気により本機が MRI 装置に吸着されたり、故障したりするおそれがあります。   |
|    | <b>高気圧酸素治療を受けるときは、本体を治療室内に持ち込まない。</b><br>圧力により発火や故障の原因となります。   |
|  | <b>乳幼児や自分で意思表示できない人に使わせない（触れないようにご注意ください）</b><br>事故や耳を痛める原因となります。  |
|  | <b>屋外で雷が鳴りだしたら、直ちに装用をやめて充電ケースにしまい、安全な場所に避難する。</b><br>落雷による感電の恐れがあります。  |



## USB-電源アダプター、USB ケーブルについて

- |   |  |
|---|--|
|  | <b>雷が鳴り始めたら、電源コンセントに接続されている機器に触れない。</b><br>感電の原因となります。 |
|---|--|






## イヤホン、充電ケースについて

- |   |  |
|---|--|
|  | <b>充電端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにする。</b><br>ショート（短絡）により、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。 |
|---|--|

## 本機のご使用について

	<b>運転中に使用しない。</b> 自動車、自転車などを運転しながら本機を使用したり、スマートフォンの表示画面を見たりすることはしないでください。交通事故の原因となります。
	<b>他人に本体を貸したり、他人から借りたりしない。</b> 耳を痛めたり、耳の病気に感染する原因となります。

## 他の電子機器への影響について

	<b>他の機器に電波障害などが発生した場合は、無線機能を使用しない。</b> 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。
	<b>病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従う。</b> <b>使用禁止の場所で、使用しない。</b> 本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となります。
	<b>高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しない。</b> 電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となります。
	<b>心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離して使う。</b> 心臓ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。異常を感じたら直ちに本機を体から離し、医師に相談してください。
	<b>満員電車の中など混雑した場所では、無線機能をオフにするか本機の電源を切る。</b> 付近に心臓ペースメーカーなどを装着している方がいると、電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

 **注意**

## 内蔵充電式電池について



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める。

充電を続けると、発熱・発火・破裂の恐れがあります。



ひどく膨れた機器は使用しない。

火災・感電の原因となります。すぐに次の処置をしてください。

1. 電源を切る
2. USB ケーブルを外す
3. 「修理に関するお問い合わせ先」に連絡する

## お手入れについて



お手入れの際は、充電ケースの USB ケーブルを抜く。

イヤホンは操作ボタンを長押しして電源を切る。

感電の原因となることがあります。また、USB ケーブルが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。



イヤホンは常に清潔にして使う。

## コネクタ一部への接続



コネクタ一部に、指定品以外は接続しない。








火災・感電の原因となることがあります。

## 音量について

	<p><b>イヤホンを使うときは音量に注意する。</b> 大音量で聞くと難聴の原因となることがあります。</p>
	<p><b>ストリーミングモードで、大きな音量で長時間使わない。</b> 耳を傷めるおそれがあります。音量調整の目安としては、ストリーミングモードで普通に話した自分の声が聞こえるようにしてください。</p>
	<p><b>大きな音で聞き続けたい。</b> 大きな音で聞き続けたり、本機からハウリングのピーピー音が発生する状態で使用し続けると聞こえを悪くするおそれがあります。連続して長時間のご利用は控えるようにしてください。</p>

## イヤホンについて

	<p><b>本体の隙間に手や指を入れない。</b> けがや、本体の故障・破損の原因となることがあります。</p>
	<p><b>以下のような症状が現れた場合は本機の使用を中止し、すぐに医師にご相談ください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機が皮膚に接する部分がかぶれたり湿疹ができたりしたとき。 本機の皮膚に接する部分には、炎症を起こしにくい材料を使用していますが、体質によってはまれにかぶれや湿疹を生じるおそれがあります。</li> <li>• 使用中に耳だれが生じたり、何らかの事情で耳の治療が必要になったりしたとき。</li> <li>• 以前に比べ、急に耳の聞こえが悪くなったと思われるとき。</li> <li>• めまいや頭痛が生じたとき。</li> <li>• 耳の中に痛みが生じたとき。</li> <li>• 耳鳴りが生じたとき。</li> </ul>
	<p><b>イヤピースはしっかり取り付ける。</b> イヤピースがはずれて耳に残るとけがや病気の原因となることがあります。</p>
	<p><b>イヤピースは付属品の中から耳の形状に合ったものを選んで使用する。</b> イヤピースのサイズが耳にあっていないと、ハウリングのピーピー音が発生する場合や、よく聞こえない場合があります。</p>
	<p><b>破損したイヤピースを使用しない。</b> イヤピースが本機から外れて耳の中に残るおそれがあります。</p>

	<p><b>イヤークラスがイヤホンに正しく取り付けられていることを確認する。</b></p> <p>イヤークラスが正しく取り付けられていない場合、耳の中で外れるおそれがあります。イヤークラスを引っ張り正しく取り付けられていることを確認してください。純正（当社指定）のイヤークラスを使用してください。</p>
	<p><b>マイクの音口に触れない。</b></p> <p>リスニングモードの状態ですマイクに触れますと、大きなガサガサ音が発生します。大きな音を聞き続けると聞こえを悪くするおそれがあります。</p>
	<p><b>本機を他人の聞こえのテストの結果を反映した状態のまま使用しない。</b></p> <p>音量は、聞こえのテストの結果を反映した人に最適な設定になります。そのため、耳を傷めるおそれがあります。聞こえのテストを「出荷状態に戻す」で初期化してください。</p>
	<p><b>聞こえのテストは静かな環境で行う。</b></p> <p>周囲が騒がしい環境で聞こえのテストを行うと、不適切な聞こえのテスト設定となり、耳を傷めるおそれがあります。</p>
	<p><b>使用中に痛みを感じたら使用を中止する。</b></p> <p>本機を長時間使用した際に、痛みを感じるおそれがあります。痛みを感じた際は、本機の使用を中止してください。</p>
	<p><b>イヤホン本体の左（L）、右（R）の表記を事前に確認し、イラストに沿って正しく装着してください。</b></p> <p>左右の音圧差により、過大な音量により鼓膜、中耳、内耳を痛める危険があります。</p>
	<p><b>イヤークラスを交換した際は、その都度「聞こえのテスト」を行ってください。</b></p>

## 電池に関する注意

爆発、または可燃性の液体もしくはガスの漏出をもたらす可能性があるため、次のことは避けてください。

- 本機で指定されていない電池への交換
- 火中または焼却炉への廃棄、機械的な押し潰しまたは切断
- 使用、保管または輸送中に受ける過度の高温または低温
- 使用、保管または輸送中に受ける過度の低い気圧

## はじめに

### あらかじめご了承ください

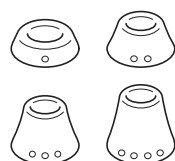
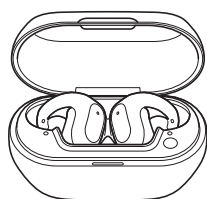
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点やお気づきの点などがありましたらご連絡ください。
- 本書および本機の使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本文中のアプリやスマートフォンの表示画面などは、実物と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機は、補聴器ではありません。難聴の疑いがある方は耳鼻科医にご相談ください。

## 同梱品の確認

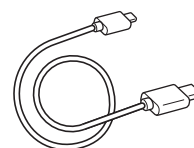
ご使用前に、必ず同梱品の確認をしてください。

- イヤーピース（M）は本体にあらかじめ取り付けられています。
- スタイルアクセサリーの付属状況は製品によって異なります。

イヤホン（本体）と充電ケース イヤーピース（S、M、L、XL 各  
2個）



USB ケーブル



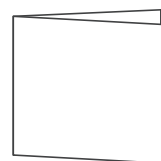
スタイルアクセサリー※



スタートアップガイド（保証書  
付き）



メッセージカード



※ イラストは一例です。形状・色・数量は製品により異なります。

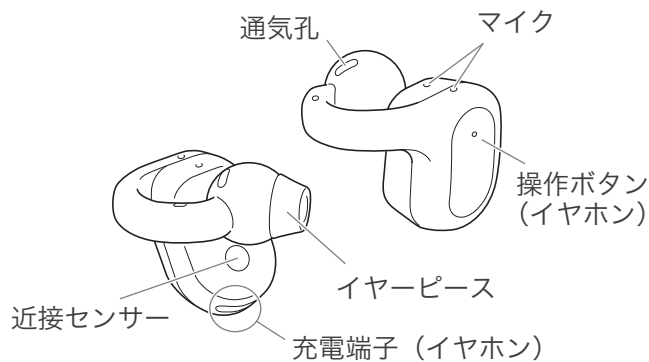
詳細は製品サポートをご確認ください。

<https://www.casio.com/jp/support/earu/>



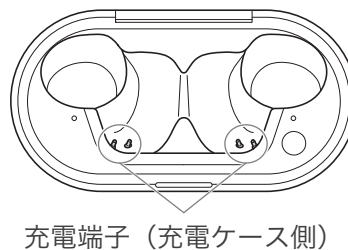
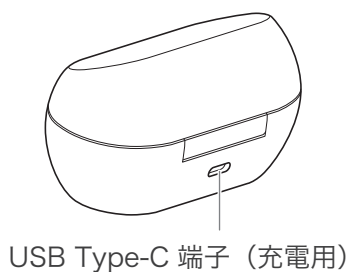
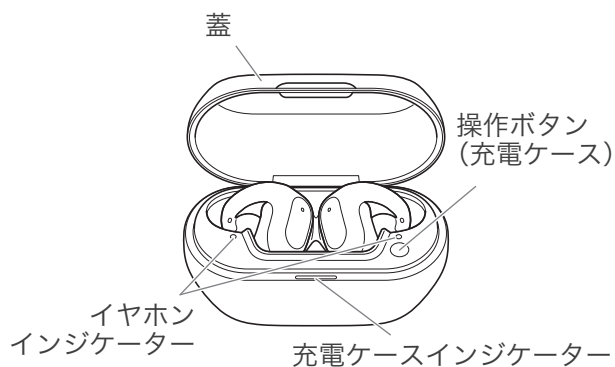
## 各部の名称

### イヤホン



- イヤホンを耳に装着するときに近接センサー、マイクを触らないようにしてください。誤動作の恐れがあります。

### 充電ケース



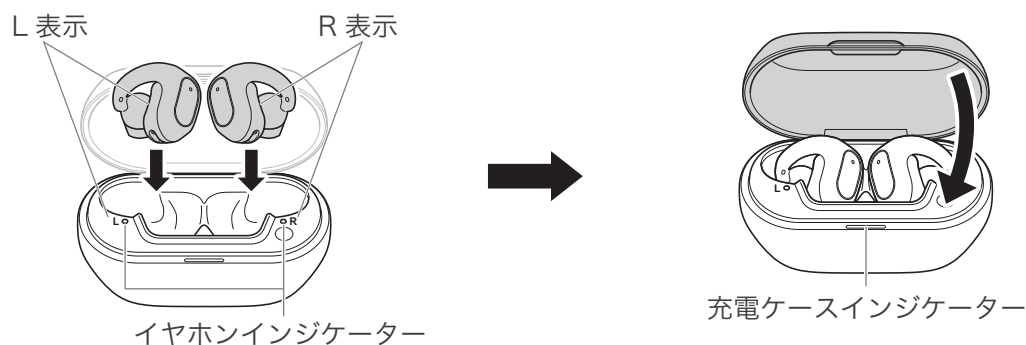
## 充電する

お買い上げ時、電池は充電されていない場合があります。以下の方法で充電してからご使用ください。

- お買い上げ後、初めてご使用になる場合は、イヤホンから絶縁シートを外してください。
- 充電の際は、付属の USB ケーブルと市販の USB 電源アダプターを使用してください。
- 市販の USB 電源アダプターは、出力 DC 5 V・1 A 以上の USB 規格に適合した製品を使用してください。

### 1 イヤホンを充電ケースにセットし、蓋を閉じます。

- イヤホンと充電ケースの L/R 表示を合わせてセットします。



- 充電ケースが充電されている場合はイヤホンに充電が開始されます。
- 充電ケースに置かれるとイヤホンインジケーターと充電ケースインジケーターが電池残量に応じて点灯または点滅します。

### 参考

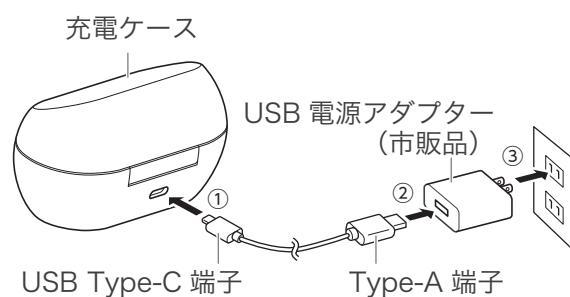
- うまく点灯、点滅しない場合は、イヤホンをもう一度セットし直してください。

## イヤホンインジケータ/充電ケースインジケータの電池残量

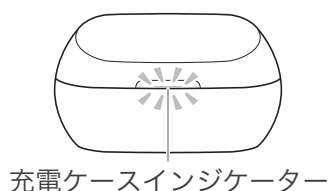
点灯状態	電池残量
● 緑点灯	残量 100%~80%
● オレンジ点灯	残量 79%~15%
☀ オレンジ点滅	残量 14%~1%
● 赤点灯	残量 0%

- 残量数値は目安です。
- 電池残量は専用アプリでも確認できます。

## 2 付属の USB ケーブルの大きい端子 (Type-A) を USB 電源アダプター (市販品) に、小さい端子 (USB Type-C) を充電ケースに接続します。



- イヤホンと充電ケースを同時に充電します。
- 充電が開始されると充電ケースインジケータが点灯または点滅します。



## 充電ケースの充電状態

点灯状態	充電状態
 オレンジ点灯	充電中
 緑点灯 (約 5 秒後消灯)	充電完了
 赤点滅	温度異常で充電停止
 赤、オレンジの交互点滅	異常電流時

※ 温度異常で充電停止した場合は、イヤホンインジケータも赤点滅します。

## 充電時間

イヤホン : 約 1.5 時間 (イヤホン満充電まで)

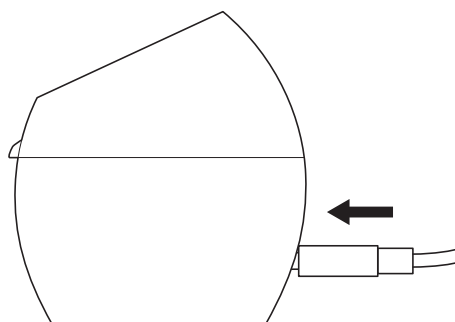
※10 分充電で約 90 分動作 (リスニングモード)

充電ケース : 約 2.5 時間 (DC 5 V・1 A の USB 電源アダプターの場合)

- 上記は目安です。長時間電池を使わなかった場合や周囲の温度によっては、充電時間がさらに伸びることがあります。
- 繰り返し充電することで内部の電池が劣化します。極端に使用時間が短くなったときは、必ず、[修理お申込み先](#)またはお買い上げの販売店に製品交換をご依頼ください (有償)。
- 充電ケースの残量が完全になる前に充電してご使用ください。

## 充電に関する注意

- USB ケーブルは水平に挿し込んでください。



充電ケース

- 充電ケースには電池が内蔵されています。充電ケースの電池残量があるときは、充電ケースのみでイヤホンを充電できます。
- 充電ケースの電池残量がないときはイヤホンに充電することができず、イヤホンを充電ケースに置いて蓋を閉めても電源は OFF になりません。
- 充電ケースを開けても電源が ON にならない場合は、充電ケースの電池残量がない可能性があります。「イヤホンの使い方」(p.41)
- イヤホンを充電ケースに置いたり、ケースを開け閉めしてもイヤホンインジケータが点灯しないときは、イヤホンと充電ケースの充電端子の接触に問題がある可能性があります。「お手入れの方法」(p.78) を参照して、お手入れをしてから再度イヤホンを充電ケースに置いてください。
- 温度異常を検知したときは赤の点滅で充電が止まります。このようなときは充電できる温度環境で充電を再開してください。常温にしばらく置いて赤の点滅で充電が止まるときは、[修理お申込み先](#)に修理をご検討ください。
- 使用しない場合でも、6 カ月に 1 度は充電をしてください。
- 長期使用しなかった場合、過放電により充電に時間がかかる場合があります。その場合、充電ケースは 5 時間、イヤホンは 4 時間で充電が自動で停止します。

## ご使用前の準備

### 専用アプリをダウンロードする

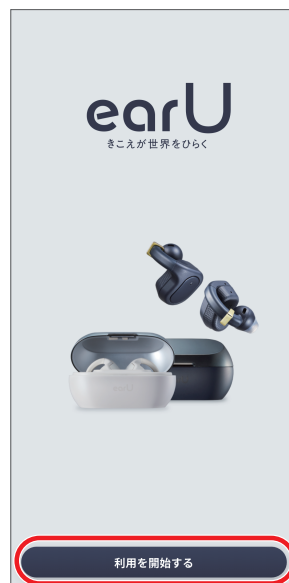
本製品のご使用には、スマートフォンへの専用アプリ「earU」のダウンロードが必要です。  
下記のサイトの指示に従って自身のスマートフォンに合ったアプリをダウンロードしてください。  
<https://s.casio.jp/f/10849ja/>



初回起動時には各種設定を行います。

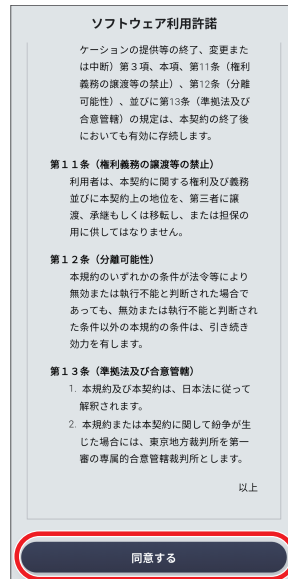
#### 1 専用アプリを開きます。

- ダウンロードした「earU」を起動し、「利用を開始する」をタップします。



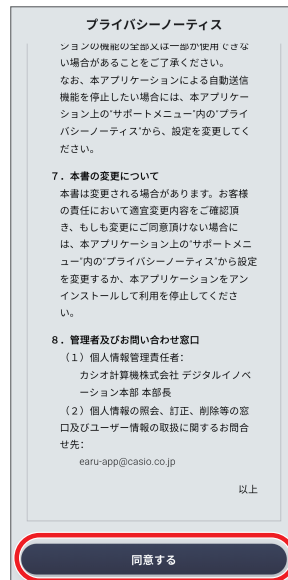
## 2 「ソフトウェア利用許諾」に同意します。

- 全文をスクロールして確認し、「同意する」をタップします。



## 3 「プライバシーポリシー」を確認します。

- 全文をスクロールして確認し、「同意する」をタップします。



## 4 イヤホンを専用アプリに接続します。

- 「接続に進む」をタップします。



- ペアリングしていない場合は「ペアリングの方法」をタップ、または「スマートフォンと接続する (ペアリング)」(p.26) を参照してペアリングをします。
- 接続完了後、「閉じる」をタップして次へ進みます。

## 5 イヤホンカラーの設定をします。

- イヤホンカラーを選択します。



- 「次へ」をタップして次へ進みます。

## 6 ユーザー情報を設定します。

- それぞれの項目を入力して「次へ」をタップします。



## 7 ユーザー情報を入力します。

- 回答を選択し、「次へ」をタップします。

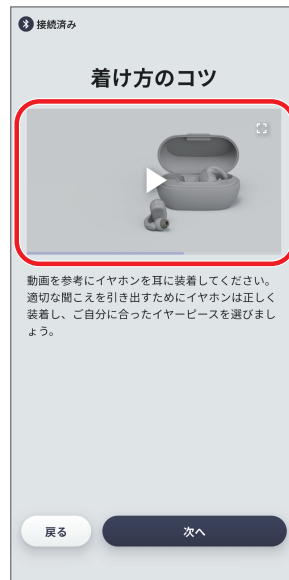


The screenshot shows a mobile application interface for selecting a purchase destination. At the top, it says '接続済み' (Connected) and '購入先 (1つのみ選択)' (Purchase destination (select only one)). Below this is a list of 14 options, each with a radio button: 'カンオオンラインストア', '家電量販店店頭', '家電量販店EC', '楽器店店頭', 'Amazon', '楽天', 'Yahooショッピング', 'ホームセンター', 'テレビショッピング', '知人からプレゼントされた', 'キャンペーンで当選した', and 'デパートEC'. The entire list is enclosed in a red rounded rectangle. At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ' (Next), and a '次へスキップ' (Skip to next) option with a progress indicator below it.

- ユーザー情報の入力は任意です。「次へスキップ」でスキップできます。

## 8 着け方のコツを確認します。

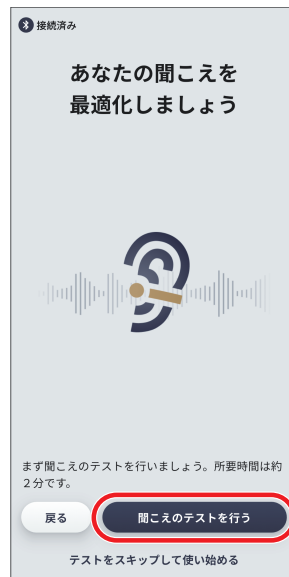
- 画像をタップすると、着け方の動画が再生されます。
- 画像の右上の全画面表示アイコンをタップすると、動画を全画面で表示します。



- 「次へ」をタップすると次へ進みます。

## 9 聞こえのテストを行います。

- 「聞こえのテストを行う」をタップします。



- 「[聞こえのテストを行う](#)」(p.34)を参照して聞こえのテストを行います。
- 聞こえのテストはスキップ可能ですが、最適な聞こえの状態にするためにもご使用前には聞こえのテストを実施して、その結果をイヤホンに反映させてください。

- 聞こえのテストを終えると、初期設定が完了し、アプリの「操作」ページが表示されます。

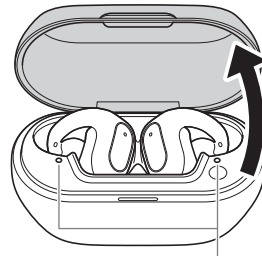


#### 参考

- 聞こえのテストは「操作」画面の「最適化」から何度でも行うことができます。

## スマートフォンと接続する（ペアリング）

- 1 イヤホンを充電ケースに収納した状態で蓋を開けます。



イヤホンインジケータ

- 初回のペアリング時、またはペアリングリセット後は、手順 2 の操作を行わなくても、充電ケースの蓋を開けるとペアリング開始状態になります。

- 2 イヤホンインジケータが消えるのを待ってから、充電ケースのボタンを 3 秒間押し、指を離します。

- イヤホンインジケータが青色に点滅します。

### イヤホンインジケータのペアリング状態

点灯状態	ペアリング状態
 青点滅	ペアリング開始
 青点灯	ペアリング完了

## Android の場合

- 3 お使いのスマートフォンの「Bluetooth」を ON にします。
- 4 「新しいデバイスとペア設定」を選択し、[earU ER-100] をタップします。
- 5 「ペア設定する」をタップします。

## iOS (iPhone) の場合

- 3 お使いのスマートフォンの「設定」を開いて「Bluetooth」を ON にします。
  - 4 [earU ER-100] をタップします。
    - ペアリングが開始されます。
- 接続が完了したら、専用アプリで「ユーザー情報」などを入力してください。(p.19)
  - 入力が完了すると、「着け方のコツ」の画面が表示されます。

### 参考

- ご使用のスマートフォンの機種や OS (iPhone または Android) のバージョンによって、操作手順や画面の表示が異なる場合があります。
- Android の場合、スマートフォンの機種やタイミングによって、earU ER-100 が 2 つ表示されることがあります。その場合はヘッドセットのマークの ER-100 をタップしてください。
- 詳しい操作方法は動画でご案内しています。こちらからご覧ください。

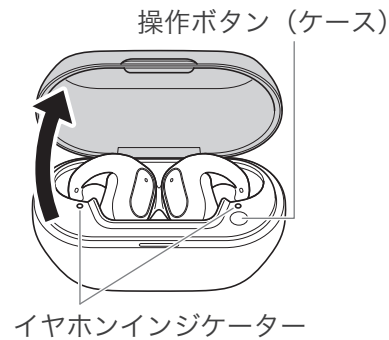
<https://youtu.be/ctZi1S3HI34>



## ペアリングをリセットする

これまでにペアリングを行ったスマートフォンとの接続情報を消去したい場合や、スマートフォンとの接続がうまくいかないときにリセットします。

### 1 イヤホンを充電ケースに収納した状態で蓋を開けます。



### 2 充電ケースのボタンを押し続け、イヤホンインジケータがオレンジ点滅したら、指を離します。

- スマートフォンとのペアリング情報のみ消去します（左右イヤホンの同期は保持します）。
- リセットが成功すると、イヤホンインジケータが消灯します。

## イヤホンを耳に装着する

- 詳しい装着手順、イヤピースのサイズ確認方法は動画でご案内しています。こちらからご覧ください。

<https://youtu.be/F63L5o01sTI>

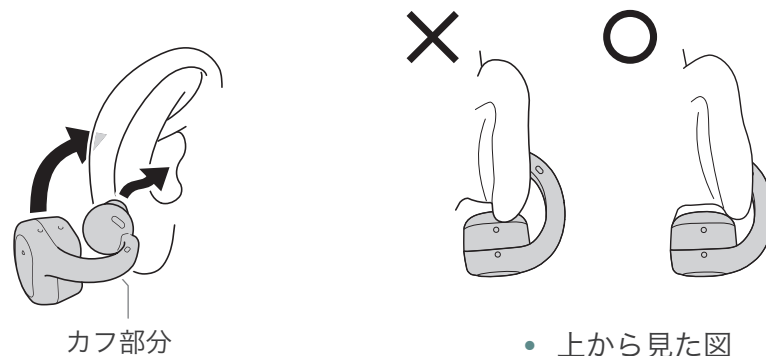


### 1 充電ケースからイヤホンを取り出します。

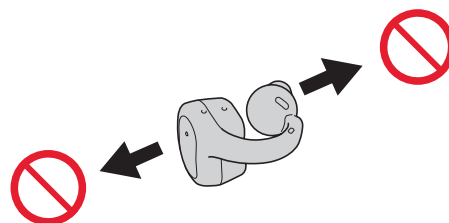
- 充電ケースの蓋を開けると電源が自動で ON になります。

### 2 イヤホンを耳に装着します。

- イヤホンの内側に「R」と表示がある方を右耳に、「L」と表示がある方を左耳に装着します。
- イヤホンのカフ部分を持って、耳の前後に挟み込むように装着します。

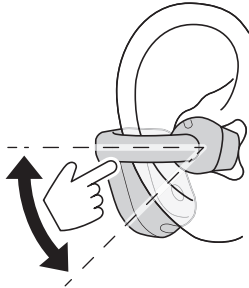


- 装着時は無理な力を加えないでください。故障につながる恐れがあります。

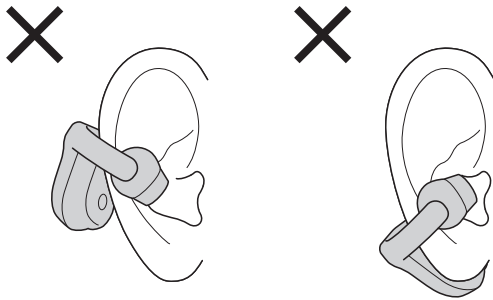


### 3 イヤホンの位置を調節します。

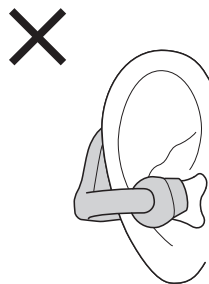
- イヤホンを軽く押しながら、耳にフィットする位置を調整してください（目安として、水平から0度～45度の範囲）。



#### 正しくない付け方



- 装着位置が傾き、イヤピースの位置がずれている



- イヤホンの装着方向が逆

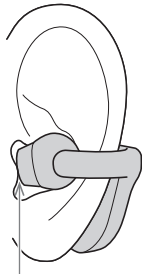
## イヤピースのサイズ確認・交換

### イヤピースのサイズ確認

本製品の効果を十分に発揮するには、適切なイヤピースを選ぶ必要があります。  
 付属のイヤピース（S、M、L、XL）の中から、自分の耳に合ったサイズを選びます。  
 本製品はイヤピースを耳穴に差し込む必要はありません。

#### 1 イヤホンを耳に装着後、イヤピースの位置を確認します。

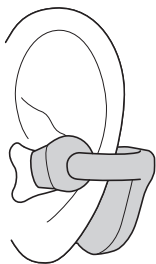
##### 最適な位置



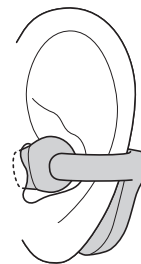
イヤピースの先端

- イヤピースの先端が耳穴に入り込みすぎず、入り口に軽く触れる位置が最適な装着位置です。
- 上のイラストの状態に最も近くなるイヤピースを選んでください。

##### サイズを交換した方が良い場合



- イヤピースの先端が耳穴から離れすぎている場合は大きいイヤピースと交換します。



- イヤピースの先端が耳穴に入り込んでいる場合は小さいイヤピースと交換します。

### 参考

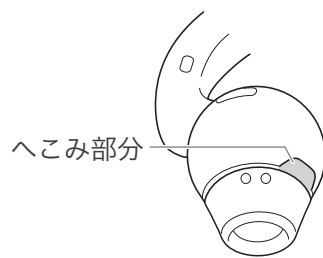
- スマートフォンのインカメラで、顔の真横よりやや前方から動画を撮影すると、イヤークラスの装着状態を確認しやすくなります。

## イヤークラスの交換

イヤークラスのサイズが合わない場合は、別のサイズに交換します。

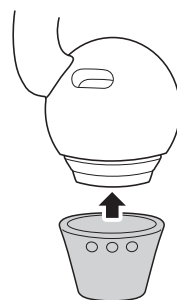
### 1 あらかじめ付いているイヤークラスを取り外します。

- へこみ部分に指先を入れて、やさしく取り外してください。



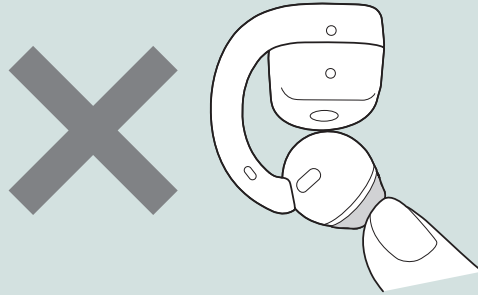
### 2 サイズの違うイヤークラスを取り付けます。

- イヤークラスをまっすぐに、カチッと音がするまで押し込みます。



### 参考

- もし指で外しにくい場合は、カードのようなものをやさしく挿し込み、取り外してください。その際、イヤークラスが飛んでいかないように注意してください。
- 取り付けの際は、イヤークラスの外周部を持ってください。イヤークラスの上部の穴を指で押し込むと、イヤホン先端のメッシュ部分が破損する恐れがあります。



- イヤークラスが使用中に外れて耳の中に残ってしまった場合は、無理に取り出さずに医師に相談してください。  
無理して取り出そうとすることで外耳道に傷をつける恐れがあります。

## 聞こえのテストを行う

専用アプリを使用して、「聞こえのテスト」を行ってください。

このテストはなるべく静かな場所で行ってください。

初回起動時は、「聞こえのテストを行う」をタップした後、手順 4 から操作を行ってください。

1 スマートフォンで専用アプリ「earU」を起動します。

2 「最適化」をタップします。



3 「聞こえのテストを行う」をタップします。



#### 4 イヤーピース（左）のサイズを選択します。

- イヤホンに取り付けているイヤーピースのサイズをタップします。



- サイズを選んだら「次へ」をタップします。

#### 5 イヤーピース（右）のサイズを選択します。

- イヤホンに取り付けているイヤーピースのサイズをタップします。



- サイズを選んだら「次へ」をタップします。

## 6 周辺環境の確認をします。

- テストに適した環境であることを確認します。



- 初めて聞こえのテストをする場合は「初めての方はこちら」をタップします。(手順7へ)
- 2回目以降、聞こえのテストをする場合は「説明をスキップしてテストをはじめ」をタップします。(手順8へ)

## 7 聞こえのテストの方法を確認します。

- 画面に表示されている案内を読み、テスト方法を確認します。
- 「音を聞いてみる」をタップすると実際に出る音が再生されます。



- 「次へ」をタップし、「はじめ」をタップすると、聞こえのテストが始まります。

## 8 音が聞こえた回数を入力します。

- 段々と小さくなる短い音が、9回再生されます。
- 何回目まで聞こえたか、聞こえた回数をタップします。
- 聞き逃してしまった場合は「もう一度聞く」を押すことで再度再生されます。
- 聞こえなかった場合は「聞こえなかった」をタップしてください。



- 聞こえた回数を選んだら「次へ」をタップします。
- 左右4回ずつ（500Hz、1000Hz、2000Hz、4000Hz）手順8を繰り返します。

## 9 「イヤホンに反映する」をタップします。



- 結果がイヤホンへ送信されます。

**10 「OK」をタップします。**

- 「聞こえのテスト」を終了します。
- イヤーピースを交換した際は、その都度「聞こえのテスト」を行ってください。

**参考**

- 最適化によって、前回実施時と聞こえ方が変わることがあります。シーン設定からお好みの聞こえ方に再調整してください。

## 聞こえのテストの結果管理

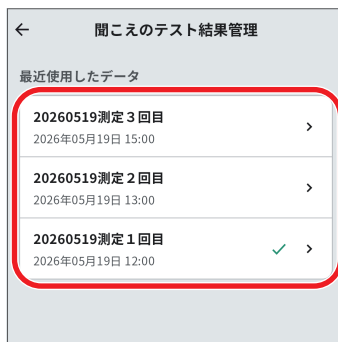
聞こえのテストの結果を最大 20 件まで登録できます。登録した結果は、専用アプリからイヤホンに反映できます。

### 1 「最適化」の画面で「聞こえのテスト結果」をタップします。



- 登録された聞こえのテスト結果の一覧が表示されます。

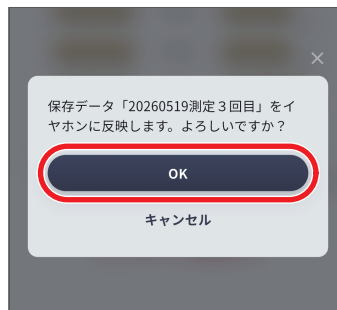
### 2 イヤホンに反映したいデータを選択します。



3 「イヤホンに反映する」をタップします。



4 「OK」をタップします。



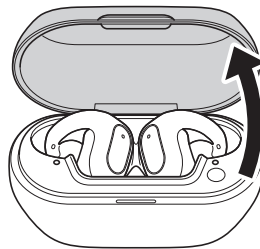
- 選択したデータがイヤホンに反映されます。

## 基本的な使い方

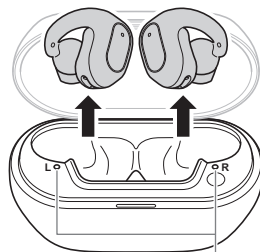
「ご使用前の準備」(p.19) を行ってから、お使いください。

### イヤホンの使い方

1 充電ケースを開きます。



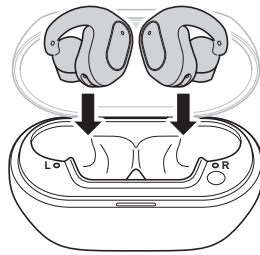
2 イヤホンインジケータの点灯を確認してから、イヤホンを取り出します。



イヤホンインジケータ

- 自動的にイヤホンの電源が ON になります。
- 取り出したイヤホンの電源が ON にならない場合は、充電ケースに戻して蓋を閉じ、再度取り出してください。

**3** 充電ケースにイヤホンを収納します。



- ケースの蓋を閉めると、自動的にイヤホンの電源が OFF になります。

## イヤホンの操作

イヤホン本体の操作ボタンでは以下の操作ができます。



操作	リスニング時	ストリーミング時	通話時
1 回押し	音量を上げる	音量を上げる	音量を上げる
2 回押し	音量を下げる	音量を下げる	音量を下げる
3 回押し	シーン切り替え (p.51)	—	通話の着信拒否
長押し (約 1 秒) ※1	—※3	音声の停止/再生	通話の応答/終了
長押し (約 3 秒) ※2	電源の ON/OFF	電源の ON/OFF	電源の ON/OFF

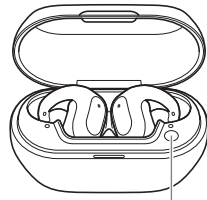
※1 確認音が 1 回 (ピン) 鳴ったら、操作ボタンから指を離してください。

※2 確認音が 2 回 (ピン、ピンピン) 鳴ったら、操作ボタンから指を離してください。

※3 Bluetooth 接続中のスマートフォンで音楽再生が一時停止している場合、リスニングモード中でも操作ボタンを長押し (約 1 秒) すると、一時停止が解除され、音楽がストリーミングモードで再生されます。

## 充電ケースの操作

イヤホンが収納されている状態で、充電ケースの操作ボタンでは以下の操作ができます。



操作ボタン

操作	動作
1 回押し	イヤホン、充電ケースの電池残量表示
長押し（約 3 秒）	ペアリング
長押し（約 10 秒）	ペアリングリセット

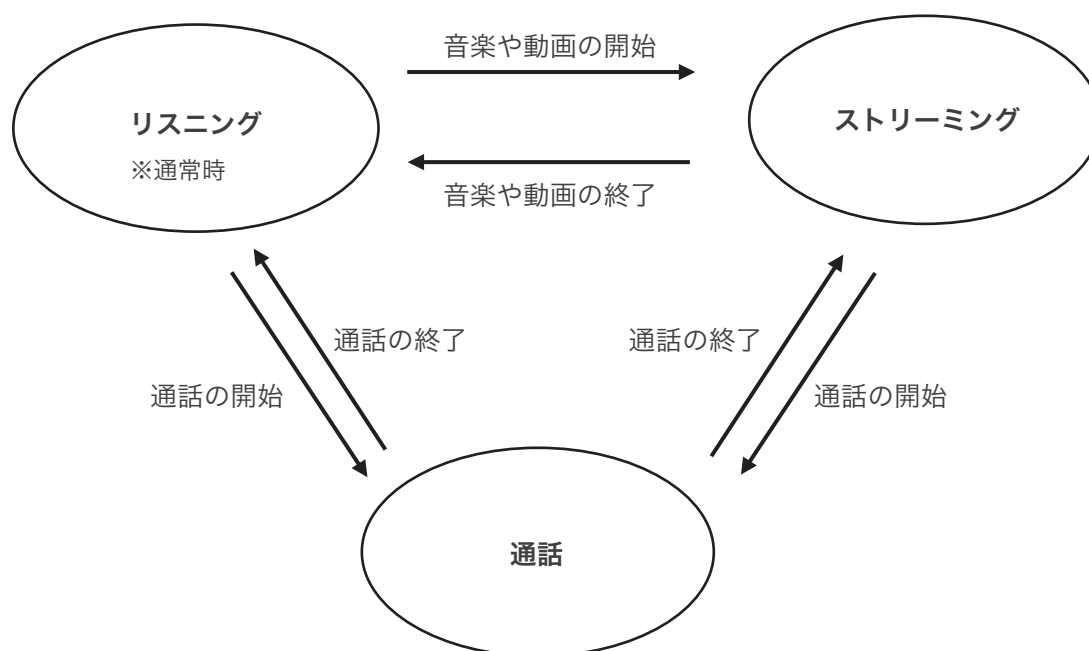
### 充電ケースインジケータの電池残量

点灯状態	電池残量
● 緑点灯	残量 100%～80%
● オレンジ点灯	残量 79%～15%
☀ オレンジ点滅	残量 14%～1%
● 赤点灯	残量 0%

## イヤホンの状態について

本製品には、使い方によって以下の3つの状態があります。

状態	説明
リスニング	聞こえのサポートを行い、会話や周囲の音を聞き取りやすくします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンからの音声は聞こえません。</li> </ul>
ストリーミング	Bluetoothで接続した機器（スマートフォンなど）で再生した音楽や動画の音声を聞くことができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>接続した機器で音楽や動画が始まると、本状態に自動的に切り替わります。（工場出荷時）</li> <li>接続した機器からの音声※が聞こえます。</li> <li>聞こえのサポートは行いません。</li> </ul> ※ 通知音や操作音なども含みます。
通話	Bluetoothで接続した機器での電話やWeb会議などで、本製品を通して通話することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>着信がきたり、Web会議に参加したりすることで、本状態に自動的に切り替わります。（工場出荷時）</li> <li>聞こえのサポートは行いません。</li> </ul>



## モードの切り替え

専用アプリ「earU」で、リスニング固定やストリーミング固定のモードに切り替えることができます。「[モード切り替え](#)」(p.48)

- 工場出荷時は、リスニングとストリーミングが自動的に切り替わる、オートモードに設定されています。

### 参考

- リスニングとストリーミング、通話を同時に行うことはできません。
- オートモードでかつ、スマートフォンの設定でタッチ操作音が ON になっていると、スマートフォンの画面がタップされるたびに、リスニングとストリーミングが頻繁に切り替わります。この場合はリスニング固定 ([p.48](#)) にするか、スマートフォンのタッチ操作音設定を OFF にしてのご使用をおすすめします。
- ペ어링したスマートフォンに電話等の着信が来た場合、イヤホンを充電ケースから取り出すと、通話が始まる場合があります。(ご使用のスマートフォンの機種や OS により異なります。)

# 専用アプリでできること

## 専用アプリについて

専用アプリ「earU」を通して、様々な機能を利用できます。  
専用アプリを起動すると、操作画面が表示されます。(初期設定が完了した後の画面です。)

### 主な機能



#### ① 設定

各種設定等を行うことができます。

- ファームウェアアップデート
- ストリーミングイコライザー設定 (p.62)
- マルチポイント接続設定 (p.66)
- 出荷状態に戻す (p.69)

#### ② モード切替

モードを切り替えることができます。(p.48)

#### ③ シーン詳細設定

イヤホンの音量バランスやノイズ抑制などを細かく設定できます。(p.55)

#### ④ シーン選択

シーンを切り替えることができます。

周囲の環境に合わせて、音の聞こえ方を調整した設定(シーン)が、あらかじめ6種類用意されています。(p.51)

#### ⑤ 操作

タップすると、操作画面に戻ります。

#### ⑥ リラックス

環境音を再生します。自然音やノイズ音などの環境音をイヤホンで再生し、集中やリラックスをサポートします。(p.58)

#### ⑦ 最適化

聞こえのテストを行うことができます。(p.34)

#### ⑧ サポート

取扱説明書、操作動画、よくあるご質問等を見ることができます。

## モード切り替え

本製品は、利用状況に合わせて、「オート」、「リスニング」、「ストリーミング」の3つの動作モードを選べます。

切り替えは専用アプリ「earU」で簡単に行えます。

モード	説明
オート（推奨）	<p>音楽再生や通話の開始・終了に応じて、イヤホンの動作モードを自動で切り替えるモードです。</p> <p>通常は「リスニング」モードで周囲の音を聞き取りやすくし、スマートフォンなどの Bluetooth 対応機器で音楽などが始まると、自動で「ストリーミング」モードに切り替わります。</p> <p>スマートフォンからの音声終了すると、再び「リスニング」モードに切り替わります。</p>
リスニング	<p>周囲の音を自然に聞き取りやすくするモードです。</p> <p>イヤホンを装着すると、会話や周囲の音を聞き取りやすくし、快適に聞こえるようになります。</p>
ストリーミング	<p>スマートフォンなどの Bluetooth 対応機器と接続し、音楽や動画などの音声のみが聞こえるモードです。</p> <p>このモードでは、イヤホンを耳に装着していない場合でも再生が継続します。</p>

1 スマートフォンで専用アプリ「earU」を起動します。

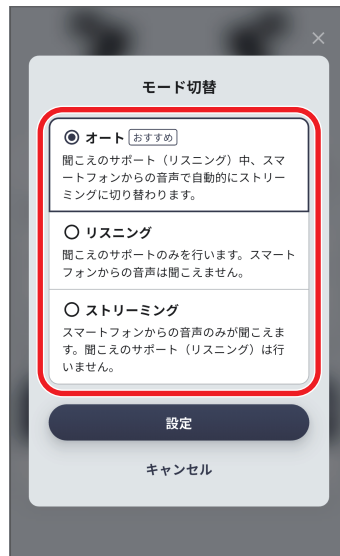
2 「操作」をタップします。



3 「モード切替」をタップします。



#### 4 切り替えたいモードをタップします。



- 「設定」をタップすると選んだモードに切り替わります。

#### 参考

- リスニングとストリーミングを同時に行うことはできません。
- モードが「オート」でかつ、スマートフォンの設定でタッチ操作音が ON になっていると、スマートフォンの画面がタップされるたびに、リスニングとストリーミングが頻繁に切り替わります。この場合はリスニング固定にするか、スマートフォンのタッチ操作音設定を OFF にしてのご使用をおすすめします。

## シーン切り替え

イヤホンをリスニングモードで使う際、周囲の環境に合わせて最適な音質に調整できる機能です。周囲の環境に合わせて、音の聞こえ方を調整した設定（シーン）が、あらかじめ6種類用意されています。よく使うシーンは、2つまでイヤホンに登録でき、専用アプリやイヤホンの操作（p.43）で簡単に切り替えられます。

### シーンを設定する

- 1 スマートフォンで専用アプリ「earU」を起動します。
- 2 「操作」をタップします。



- 動作モードがストリーミングモードのときは利用できません。モード切り替えでオートモード、またはリスニングモードに切り替えてください。（p.48）

3 シーン設定アイコンをタップし、設定するシーンの種類をタップします。



シーン設定アイコン



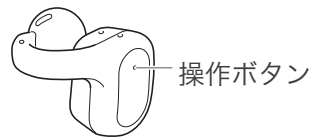
- シーンは2つ設定できます。
- 初期設定は以下のとおりです。  
シーン1：標準  
シーン2：オフィス

## 設定したシーンを切り替える

2つの方法で切り替えることができます。

### イヤホンの操作で切り替える場合

- 1 リスニングモード中に操作ボタン（イヤホン）を3回押します。



- あらかじめ設定したもうひとつのシーンに切り替わります。

## スマートフォンで専用アプリから切り替える場合

- 1 専用アプリ「earU」のホーム画面で「シーン1」または「シーン2」をタップします。



- 選択したもうひとつのシーンに切り替わります。

## シーンの詳細設定

シーンはイヤホンの音量バランスやノイズ抑制などを細かく設定できます。

- 1 ホーム画面で、使用中のシーンに表示されるシーン設定アイコンをタップします。



シーン設定アイコン

## 2 シーンの詳細を設定します。

- 6種類のシーンに対し、それぞれ設定できます。



### ① イコライザー

音のバランスを周波数帯域ごとに調整できます。

### ② プリセットイコライザー

音質を簡単に調整できるように、あらかじめ6種類の設定が登録されています。

お好みに合わせて選択してください。

### ③ 音量

イヤホンの音量を調整できます。

スマートフォンの音量とは連動しません。

### ④ 左右バランス

イヤホンの左右の音量バランスを調整できます。

スマートフォンの音量とは連動しません。

### ⑤ ノイズ抑制

ON にすると周囲の雑音を軽減します。

### ⑥ 突発音抑制

ON にすると突然の大きな音を抑えます。

### ⑦ 風切音抑制

ON にすると風の音を軽減します。

### ⑧ 過大音増幅抑制

ON にすると、大きな音から耳を守ります。

### ⑨ ハウリング抑制

ON にするとハウリングのピーピー音を抑えます。

### ⑩ 後方強調

ON にすると、後方の音が強調されます。

### 3 画面左上の矢印アイコンをタップします。



- 全てのシーン設定が保存され、ホーム画面に戻ります。

## 環境音を再生する

環境音を再生する「リラックス」機能は、自然音やノイズ音などの環境音をイヤホンで再生し、集中やリラックスをサポートします。

最大3種類の音を選んで同時再生でき、音量調整や自動停止タイマーも設定できます。

1 スマートフォンで専用アプリ「earU」を起動します。

2 「リラックス」をタップします。



- 動作モードがリスニングモードのときは利用できません。モード切り替えでオートモード、またはストリーミングモードに切り替えてください。(p.48)

### 3 環境音を設定します。

- 環境音選択アイコンをタップして、環境音の一覧から設定したい環境音をタップします。



- 「設定」をタップして設定を保存します。
- 環境音は最大3種類まで設定できます。

### 4 再生ボタンをタップして、環境音を再生します。



- 選択した環境音が再生されます。
- イヤホンと Bluetooth 接続中のみ再生可能です。

- 必要に応じて、音量をスライダーで調整します。
- 自動停止時間を設定する場合は、再生自動停止リストから時間を選択します。



## マスキング音を設定する

マスキング音は、周囲で気になる音の周波数に合わせて、別の音を再生し、その音を目立ちにくくする機能です。周波数を調整することで、気になる音に合わせたマスキング音を設定できます。

### 1 環境音選択画面で、「周波数の調整」をタップします。



### 2 マスキング音の周波数を調整します。

- スライダーを左右に移動させてマスキング音の周波数を調整します。
- 「マスキング音を聞く」をタップすると設定した周波数のマスキング音が再生されます。

スライダー



- 「設定」をタップして設定を保存します。

## ストリーミングイコライザー設定

ストリーミングイコライザーは、音楽や動画などのストリーミング再生時に音質を調整できる機能です。

聞こえのテスト結果をもとに最適化することで、より自分の聞こえ方に合わせた音質になります。

- 1 スマートフォンで専用アプリ「earU」を起動します。
- 2 動作モードがリスニングモードになっている場合は、オートモード、またはストリーミングモードに切り替えます。(p.48)
- 3 設定アイコンをタップします。



#### 4 「ストリーミングイコライザー設定」をタップします。



- 動作モードがリスニングモードのときは利用できません。モード切り替えでオートモード、またはストリーミングモードに切り替えてください。(p.48)
- ストリーミング再生中にのみ設定が可能です。再生していない場合は「音声再生中のみ使用できます」と表示されます。

## 5 音質を調整します。

- スライダーを上下に動かして音質を調整します。
- プリセットを選択すると、スライダーが自動でその設定値に変わります。
- 「聞こえのテスト結果を元に最適化する」をオンにすると、聞こえのテスト結果に基づいてイコライザーが自動調整されます。



## 6 「現在の設定を「ユーザー」に保存する」をタップします。



- 確認画面が表示されます。
- 「保存」をタップすると設定が保存されます。

## マルチポイント接続設定

マルチポイント接続設定は、イヤホンを2台のBluetooth対応機器に同時に接続するための設定です。(工場出荷時の設定はOFFになっています。)

マルチポイント接続を有効にすると、スマートフォンの専用アプリ等で操作した後、機器の切り替え操作を行う必要がなくなります。2台目の機器で音声再生を開始することで、その機器の音声を聞くことができます。

### 1 スマートフォンで専用アプリ「earU」を起動します。

- 1台目の機器として、スマートフォンとあらかじめ接続済みの状態にしてください。

### 2 設定アイコンをタップします。



### 3 「マルチポイント接続設定」をタップします。



### 4 「マルチポイント接続」のスイッチをタップします。



- マルチポイント接続設定が ON になります。

### 5 イヤホンを充電ケースに戻します。

- ケースの蓋は開けたままにしてください。

### 6 イヤホンのインジケータが消えるのを待ってから、充電ケースのボタンを3秒間押して、指を離します。

- イヤホンインジケータが青色に点滅します。

**7** 2台目の機器の Bluetooth を ON にして、「earU ER-100」とペアリングします。

参考

- 2台の機器から同時に音声再生や通話をすることはできません。  
もう1台の機器で音声再生をする場合は、最初の機器の音声再生を停止してから行ってください。
- すべての機器での動作を保証するものではありません。
- 「マルチポイント接続」を ON から OFF に変更した場合は、接続を解除する機器の Bluetooth 設定を一旦 OFF にしてください。

## 工場出荷時の設定にリセットする

イヤホンを購入時の状態に戻したい場合は、以下の手順でリセットしてください。

### 1 イヤホンを充電ケースに収納し、蓋を開けた状態にします。

- イヤホンの電池残量が少ない場合（オレンジ点滅または赤点灯時）は、十分に充電してから操作を行ってください。

### 2 スマートフォンで専用アプリ「earU」を起動します。

### 3 設定アイコンをタップします。



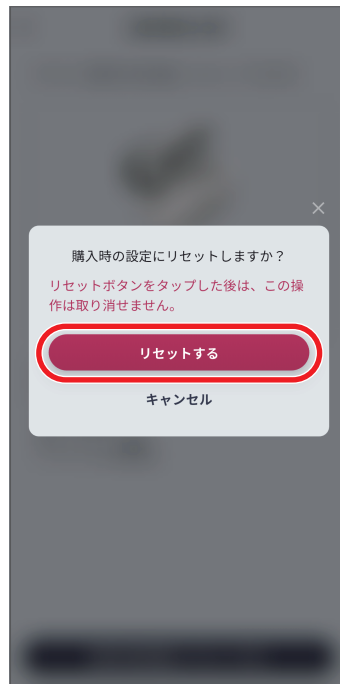
4 「出荷状態に戻す」をタップします。



5 「購入時の設定にリセットする」をタップします。



## 6 「リセットする」をタップします。



- 購入時の状態にリセットされ、イヤホンが再起動します。
- リセットすると、イヤホン側に保存された設定が初期状態に戻ります。

### 参考

- イヤホンがスマートフォンと Bluetooth で接続されていなければ、リセットはできません。
- リセット後は、もう一度イヤホンとスマートフォンを Bluetooth で接続してください。  
(p.26)
- 専用アプリに保存されている以下の項目は、リセットを行っても保持されます。
  - 聞こえのテストの結果  
(イヤホンに反映された聞こえのテストの結果は消去されます。)
  - 「リラックス」で設定済の環境音
  - ユーザー情報
  - ユーザー送信情報 ON/OFF

## 付録

### 製品仕様

イヤホン形式		耳穴を塞がないオープンイヤー型
ドライバーユニット		φ10mm ダイナミックドライバー
充電端子（充電ケース）		USB Type-C
本体質量	イヤホン	約 8 g（片耳、スタイルアクセサリ、イヤピース含まず）
	充電ケース	約 70g
通信規格		Bluetooth classic LE <ul style="list-style-type: none"> <li>• 対応プロファイル A2DP、HFP</li> <li>• 対応コーデック SBC、AAC、aptX</li> <li>• Bluetooth Core Specification 5.4 で認証取得</li> </ul>
マルチポイント		最大 2 台
マルチペアリング		最大 6 台
マイク指向性		MEMS マイク搭載（片耳で 2 個搭載）
電源（内蔵電池）	イヤホン	リチウムイオン電池
	充電ケース	リチウムイオン電池
充電時間	イヤホン	約 1.5 時間（イヤホン満充電まで） 10 分充電で約 90 分動作（リスニングモード）※ <sup>1</sup>
	充電ケース	約 2.5 時間（5 V 1 A 以上の USB 電源アダプターの場合）※ <sup>1</sup>
連続使用時間		約 9.5 時間以上（リスニングモード時）※ <sup>1</sup> 約 14 時間以上（ストリーミング時）※ <sup>1</sup>
防滴性能		IPX4（イヤホン部）
使用温度環境		0~40°C
外形寸法	イヤホン	約 32mm×約 24mm×約 27mm（片方、突起物除く） ※ 突起物：イヤピース、スタイルアクセサリ
	充電ケース	約 89mm × 約 48mm × 約 50mm（突起物除く）

## 同梱品

- イヤホン
- 充電ケース
- イヤーピース (S,M,L,XL 各 2 個)
- USB ケーブル (充電用)
- スタイルアクセサリ※2
- スタートアップガイド (保証書一体)
- メッセージカード

※ USB 電源アダプターは同梱していません。

※ 別途スマートフォンアプリ (アプリ名称: earU) が必要です。



※1 使用環境や使用条件により変わります。始めて使うときや、長期間使わなかった時は、充電時間が長くなったり使用時間が短くなることがあります。

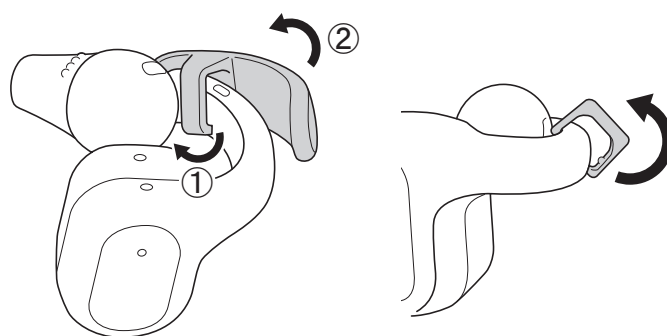
※2 形状・色・数量は製品により異なります。

## スタイルアクセサリー

スタイルアクセサリーは、earU のイヤホンに取り付けて使用するアクセサリーです。  
装着シーンやお好みに合わせて選ぶことができます。

### スタイルアクセサリー (SU-110/120) の取り付け方法

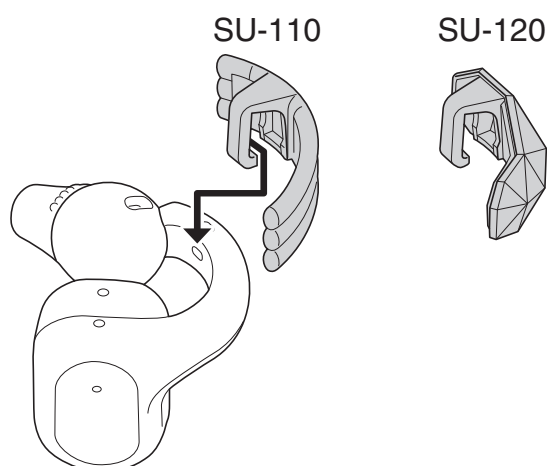
**1** イヤホンに別のスタイルアクセサリーが付いている場合は、取り外します。



- スタイルアクセサリーの付け外しにより、本体に傷がつく場合があります。

**2** 本スタイルアクセサリーを取り付けます。

- スタイルアクセサリーの内側の突起をイヤホンのくぼみ部分に合わせて、かぶせるようにはめ込みます。



## 使用上のご注意 (earU)

- ヘアスプレーや香水などをふきかけないでください。

本機装着時にヘアスプレーや香水などを使用しないでください。本機が故障するおそれがあります。

- スキンケア製品、芳香製品などが本機に付着しないようにしてください。

本機が故障するおそれがあります。

- 強い磁気を帯びたものを触れさせないでください。

本機は強い磁気を帯びたものに接触すると、故障するおそれがあります。

- 診断・治療を受けるときは本機を外してください。

診断・治療の種類により本機に悪影響を与えるおそれがあります。CT など X 線を使用する検査、マイクロ波治療器など電磁波を利用する機器および、放射線による治療などを行う際は本機を外してください。なお MRI 検査を行う場合は、本機を検査室に持ち込まないでください。

- 本体および、充電ケースには磁石が内蔵されているため、磁石の付近に磁気記録媒体（フロッピーディスク、各種カード類、磁気テープ、プリペイドカード、切符など）を近付けないでください。

記録が破壊されたり、磁化されて使用できなくなる恐れがあります。

- 次のような症状が表れたときは、本体の使用を中止し、すぐに医師にご相談ください。

- 本体と接する皮膚がかぶれたり湿疹ができたとき
- 耳漏が生じたり耳の治療が必要になったとき
- 以前に比べ急に聞こえが悪くなったと感じたとき
- 痛み、かゆみ、耳鳴り、頭痛、めまいを感じたとき

症状の悪化の原因となります。

- 医療機関（耳鼻科等）において耳の内部への塗り薬が処方されその塗り薬で治療中の場合は、本体の使用について医療機関に相談してください。

- マイクの穴、スピーカーの穴などを針やピン、ペン先でつつかないでください。

故障の原因となります。

- 就寝時には使わない。

本体の破損やけがの原因となります。

- 耳への着け方をよく読み、正しく装用してください。

正しく装用できていないと、本体が脱落したり、効果が十分に発揮できない場合やピーピー音（ハウリング）が発生する恐れがあります。

- ピーピー音（ハウリング）が発生したら、直ちに充電ケースに収納するか、イヤホンの操作ボタンを長押しして電源を OFF にしピーピー音（ハウリング）を止めてください。

事故や耳を痛める原因となります。

- 本体には磁石が内蔵されているため、装用時に本体に金属物が付着していないことを確認する。

金属が付着したまま装用すると、けがの原因となります。

- 使い始めはボリュームを小さめにして、少しずつボリュームを加減してお使いください。

- 耳の治療をしている方、または治療をしたことのある方は、耳鼻咽喉科医師にご相談の上お使いください。

- 快適にお使いいただくために、お使いになる前に耳を清潔にしてください。
- 本機は外観を点検してから装着してください。本機にひび、傷がある場合は使用しないでください。
- クリーニングにシンナー、ベンジン、アルコールなどの化学薬剤を使用しないでください。  
本製品が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。布で強く擦ると傷がつく場合があります。
- 充電ケースへの充電について  
USB 規格に適合した USB 端子から充電してください。
- 汗や雨等で濡れた際は拭き取ってください。
- 本機の電池交換はできません。極端に使用時間が短くなったときは、必ず、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店に製品交換をご依頼ください。(有償)
- イヤホンは完全防水ではありません。風呂場や洗面所など湿気が多い場所や水のかかる恐れのある場所では使用しないでください。
- 使用温度範囲内で充電してください。この範囲外では十分に充電できないことがあります。
  - 使用温度範囲：0～40℃
- 本製品は医療機器認定を取得した機器（補聴器）ではありません。

## 仕向地について

本機は日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等の規制に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

本機は、VCCI協会の技術基準（クラスB）に適合しています。  
マークは専用アプリ画面に電子的に表示します。

### VCCI マークの確認方法

VCCI マークは、ペアリングを行ったスマートフォンの専用アプリ画面上に電子的に表示されます。専用アプリの「サポート」→「法律と規制」の順にタップすると、VCCI マークを確認できます。



### JIS C 61000-3-2 適合品

本機は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## お手入れの方法

### イヤホンをお手入れする

イヤホンに付着した汚れ・汗・水分は、乾いた柔らかい布で拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

寒冷地などでは、水滴を放置すると凍結の恐れがあります。

### 充電ケースをお手入れする

表面の汚れや指紋は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

#### 参考

- 充電ケースは防水、防滴には対応していません。
- イヤホンに水分（汗など）がついたまま充電すると、ショートや腐食の恐れがあります。
- 水濡れによる故障は、製品保証の対象外となります（有償修理）。

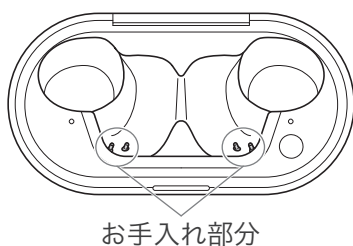
## 充電端子をお手入れする

イヤホンや充電ケースの充電端子に汗などの水分や汚れが残ると、腐食して充電できなくなる場合があります。

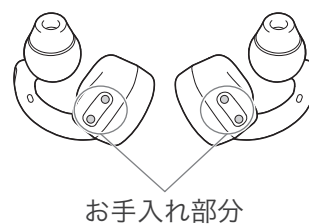
使用後は、乾いた柔らかい布や綿棒で充電端子部分を優しく拭き取ってください。

- 充電できないときは、充電端子をお手入れすると改善する場合があります。

【充電ケース】



【イヤホン】



### 参考

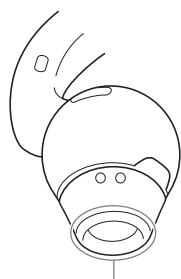
- ホコリ等を取り除く際に、エアスプレーなどの使用は控えてください。マイク穴や音の出口にホコリ等が入り、故障の原因になります。

## 音の出口をお手入れする

イヤホン部に耳垢などの異物が付着したりすると、音が小さく聞こえたり、音が聞こえなくなったりすることがあります。

イヤピースは外さず、布や綿棒などで穴の汚れを軽く拭き取ってください。

- 汚れをイヤホンの奥へ押し込まないように注意します。
- ライトなどで明るく照らすと確認しやすくなります。
- 水洗いやウェットティッシュは使用しないでください。早期劣化の原因となります。
- イヤピースを外す場合は、先端のメッシュ部分に負荷が加わらないように注意してください。



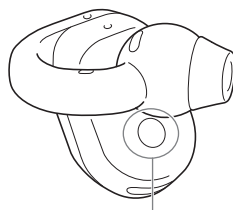
お手入れ部分

### 参考

- イヤピース先端のメッシュ部分を強くこすったり、押し込んだりすると製品が破損する恐れがあります。
- 汗などがイヤピースの内部に入った場合は、乾く前に布に向かって軽くトントンと叩いて水分を取り除いてください。

### 近接センサーをお手入れする

近接センサーが汚れていると、イヤホンの装着が検出できず、正しく動作しないことがあります。乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。

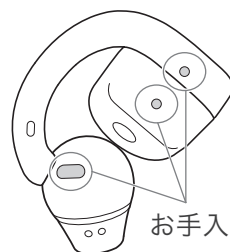


お手入れ部分

### イヤホンのマイク部、通気孔をお手入れする

マイク部や通気孔に汚れがある場合は、乾いた綿棒で軽く取り除き、柔らかい布で拭いてください。

鋭利な物でメッシュに触れることは避けてください。メッシュが損傷するおそれがあります。



お手入れ部分

## 廃棄について

充電ケースおよびイヤホンに内蔵されている充電式電池はリサイクルができます。



### 充電ケース

- 排出協力店にお持ちください。
- 排出協力店・その他詳細情報については、一般社団法人 JBRC のホームページをご覧ください。

<https://www.jbrc.com/>



### イヤホン

- スタートアップガイドに記載の「修理に関するお問い合わせ先」にお問い合わせください。

<https://casio.jp/support/repair/contact/>



## Bluetooth®機能の使用上のご注意

本機は、無線を利用しているため、周りの機器に影響を与えたり、影響を及ぼされる可能性があります。

### 無線機能について



### 使用周波数について

本機は 2.4GHz 帯周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。

他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。

使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、[earU サポートページ](#)をご覧ください。か、「機能・操作・購入先に関するお問い合わせ先」（スタートアップガイドに記載）にお問い合わせください。

### 周波数の見方について

2.4FH/XX1

この無線機は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 方式とその他の方式を採用し、与干渉距離は 10m 以下です。

## 無線機器としての利用について

本機の無線機能は、この取扱説明書に記載している範囲内でお使いください。  
それ以外の用途で使用して損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

## 磁場・静電気・電波障害について

電子レンジ付近など磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。環境により電波が届かないことがあります。  
また、2.4GHz帯の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

## 商標について

本文中の以下の用語はそれぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文では®マーク、TMマークを一部省略しています。

- 「Android」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Apple と Apple のロゴは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- Apple、iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- 「QR コード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。カシオ計算機（株）は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- USB Type-C は、USB Implementers Forum の商標です。
- その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

## アフターサービス窓口について

製品に関するお問い合わせ先やサポート情報は、同梱のスタートアップガイドもしくは下記のサポートページからご確認いただけます。

<https://www.casio.com/jp/support/earu/>



**CASIO®**

**カシオ計算機株式会社**

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2